

嘆願書添付書類

【11/24(日)サポーター集会での強化に関する意見】

●サポーター1：

今年、何が悪かったのかという総括、反省を必ずしてもらわないと困る。

来年も目標を掲げる、おそらく J3 優勝・自動 J2 昇格という目標を掲げると思うが、そのためには何が必要でどういうビジョンのサッカーをやり、どのような監督を招き、どのような選手を残す努力をして、どのような選手を連れてくるか。そのような具体的なことをカンファレンスでいうことは難しいとは思いますが、ビジョンはカンファレンスの時には答えてもらいたい。

●サポーター2：

今年を振り返ると、一貫したチームの強化方針が見えてこなかった。

去年の 11 月にアルディレス監督が退任となりその後秋田監督が就任。しかし今シーズン前半で秋田監督は解任ということになり、今は楠瀬監督代行となっている。

元を辿れば、2010 年の相馬監督、2011 年のポポヴィッチ監督、いずれも他チームからの引き抜きという事情があるが、これまで 2 年以上監督を務めてくれた人がいない。

いい監督をつれてくるのはお金がかかるし、他チームからの引き抜きといった不安の部分もある。

来年は J3 を優勝して J2 復帰をしたいが、それがゴールではないはず。

3 年後、5 年後、10 年後をどうするといった明確なビジョンを持ち、それに合った 3 年任せられる監督を連れてくる、若い選手を連れてきて育てあげる、それに伴った強化関係の人材を揃えるということを考えて欲しい。

●サポーター3：

今言っていたことと関連しているが、町田はパスサッカーを主軸にしていた。オジーゼルビアでイメージが悪くなったのか、その言葉は全く使われてなくなっている。しかしユースの試合を観に行くとパスでききれいに崩してゴールを決めている。トップチームももう一度パスサッカーを主軸にしてやって欲しいと思う。

●サポーター4：

来季の監督の事だと思う。パスサッカーや強化のこともそうだが、やはり監督がいなければ成り立たない。

ネームバリューが無くそれでお客を呼べなくてもしっかり勝てる監督を連れてくるのが第一で、その監督にあった戦術、選手をつれてくるのが大事。

2 年以上やってくれる監督をお願いし、それから戦術や選手などの話につながると思う。

●サポーター5：

先日、川淵三郎さんの講演を聞きにいった。ゼルビアは不甲斐ないという話があり、ここ数年はさらにダメダメだという話だった。

このチームは JFL のチーム、来期は J3 で 3 部のチームであり弱く、下手くそなチームで体制も出来ていないチームある。

では勝つためにはどうしたら良いかという話があった。

勝つためにはまず走るしかない。(ゼルビアの)試合を観ていてもは走り切れていない。去年も今年も走れてない。そんなチームが勝てるはずがない。

弱くて下手くそなチームなら走るしかない。

そういう走る意識の植え付けをチームや監督にはやって欲しい。サポーターは応援することしか出来ないし文句を言っても仕方がないので、そのような(走る)意識を持ち、気持ちを見せてほしい。

もう一つの心配事は小野路の練習場。人工芝がへたっている。プロのチームがあのような足を痛めやすい状況の練習場ではいい選手は来てくれないと思うので、そこの改善が必要なのではないか。

●サポーター6:

選手の要望について。

10年続けてくれる選手、例えば大卒で22歳、10年やって32歳、第2の酒井選手のような選手を輩出して欲しい。

ゼルビアは大卒の選手への目の付け所は良いと思う。

そういった選手を大切に育て長く在籍してもらい、少し調子が悪くなくてもサポが長く温かく見守れるような、町田のために戦ってくれる選手を輩出して欲しい。

【メールでの強化に関する意見】(強化やチーム編成についてのみを原文から抜粋)

●サポーターA:

以下、「強化」「チーム編成」の観点で、クラブ側へ質問させていただきます。

1.

まず第一に、2013年JFL4位という結果について、どのようにクラブとしてどのように評価しているかをお聞きしたいです。

昨年のJ2再開という結果を受けて、社長が来年は必ずJ2復帰を目指すという目標を掲げたわけですが、長野、讃岐、相模原に続く4位という当初の目標とはかなり乖離のある結果となりました。

そこで、今年のチームとして、何が計画どおり出来て、上手く行って、また何が想定どおりに行かなく、上手くいかなかったのかを、クラブとして評価し、一年の振り返りとして総括して頂きたいです。

その評価の結果として、来年度の目標設定と計画を策定して頂きたいと考えます。

この数年のFC町田ゼルビアは、シーズンが終わるたびに監督を変え、1年1年の積み重ねがないように思えます。是非、今年1年間の戦いをクラブとして評価し、来年の計画、実行に役立ててほしいと切に願います。

2.

プロの世界ですから、勝負に拘って頂きたいと考えています。

町田らしい、町田出身の、というクラブ理念は理解しているつもりでいましたが、クラブライセンス制度の導入から端を発している、昨今のJクラブの資金ショート問題を考慮すると、町田市という限られた地域で活動し、大手のスポンサー企業を持たないFC町田ゼルビアも他人事ではなく、同様の問題が訪れることは時間の問題と考えています。

収支を改善するためには様々な方法がありますが、まずは安定した収入源を確保することが必要と考えます。

町田の子供たちのお手本となるサッカーをする、町田市民に愛される活動をする事は、非常に大切なことで、決して無視できないことだと思います。

しかしながら、ここ数年の現実として、クラブの収入を維持し、また拡大する必要があり、そのためにはチームが強くなり、目の前の試合に勝つことが大事であると改めて考えます。

一般論として、弱いクラブにスポンサーが集まりにくいことは否めないと思いますし、弱いクラブよりも強いクラブを応援しようとする人の方が多いというのは、残念ながら事実だと思います。

もはや、弱くても町田らしいサッカーであればいい、ということが許される時代ではない、と考えています。

FC町田ゼルビアは、まだ市民や周辺地域に十分に認知されていない、未成熟なクラブですから、まずは勝つことでスポンサーを増やし、観客動員を平均5000人レベルまで引き上げ、安定した収入を得るための基盤を作ることが、大事だと考えます。

3.

前項と関連しますが、しっかりと走り切るサッカー、百パーセントファイトするサッカーを目指してほしいです。下のカテゴリーにいるわけですし、その結果が勝利に近づくものと考えます。

特に今年に関しては、選手個々の技術や体力面で他のチームに劣っているように見えなくても関わらず、運動量で相手に圧倒され、局面局面で数的不利を作られた試合が多かったと感じています。

(特にホーム/アウェイの長野、ホンダ戦、ホームの相模原戦など)

ディフェンス、オフェンス両方の面で、チーム戦術が十分に徹底されておらず、選手が無駄走りを恐れたり、局面局面で不安を覚え、走れない状況になっているのかもしれない。

またそうであれば、メンタルが強く、局面局面で頑張れる選手でチームを編成し、そして試合には、より頑張れる選手を起用するのも手かもしれません。

他チームと圧倒的な個の力の違いがあれば別ですが、あまり個の力の差がないとすれば、運動量を増やす、戦術を徹底する、弱気にならずに走れる選手を使う、といった部分を改めて点検し、改善して頂きたいと考えます。

●サポーターB：

第二回サポーターカンファレンスへの意見

強化方針について

トップで10年、ゼルビアのために戦える選手が出るような環境にしてほしい。もっと理想を言うと、U-13、スクール生から20年30年とゼルビアでサッカーを続けられる環境や方針を望みます。

●サポーターC：

12月8日のサポーターカンファレンスに向けて

強化、チーム編成についての要望です。

時間を掛けてチームを作ってください。

シーズンが終わって土台から作り直すようなチームを見るのは辛いです。

チームの根幹を継承して伝えられる選手を育て、残してください。

勝利だけでなく少しづつ良くなっていくチームを応援したいのです。

宜しくお願いします。

●サポーターD：

サポーターカンファレンスについての私からの意見を書かせていただきます。

既に出ているご意見と重複があるかと思いますが、何卒よろしくお願ひいたします。

強化について

多くの方が指摘されているので、重複があると思いますが、場当たりの風見鶏的な方針ではなく、例えば「5年後にはJ2優勝、10年後にはACL出場」などの明確な目標や指針に沿った形での強化方針を出していただきたい。

●サポーターE:

1. 大卒、高卒で獲得した選手をしっかりと育てて欲しい。それはプロサッカー選手としてもそうだが、人としても魅力ある選手に育てて欲しいです。
2. バランスのとれたチーム編成をお願いしたい。ポジションだけでなく、年代バランスも重要だと思います。昨年であれば平本選手のような背中で語りつつも、しっかり若手に助言できる選手も必要だと思います。
3. 地域活動に選手をもっと参加させて欲しい。例えば小学校訪問など選手が直接行った方がインパクトがあると思います。J1チームでもそのような活動をしています。もっと町田市でのゼルビアの認知度を高める努力をクラブが率先してやって欲しいです。

●サポーターF:

強化になってしまいますが一点だけ。

下部組織も何年にこのリーグへ昇格する、またトップへ何人昇格させる等、具体的な目標を出してもらいたいです。以上です。よろしくお願いします。

●サポーターG:

サポーターカンファレンスの件

1.強化面

町田のサッカーは相馬時代がピークでどんどん弱くなってきた。

集会の場でも言いましたが、町田のサッカーの軸がなくなってしまった。

「パスサッカー」でも「つなぐサッカー」「攻撃的サッカー」でもなんでもよいが、これという軸が必要。

今年、「美しいサッカー」「パスサッカー」というオジー時代の(負?)の遺産を捨て、なりふり構わないサッカーで何が何でも勝つという路線に変更し、秋田監督を招聘し、結果的には失敗。

ただ、私たちも去年の反動でそれが良いと思い、後押し応援した。

このような事態になる要因の一つに監督の入れ替わり、選手の入替わりが激しすぎる事が考えられる。

特に監督人事は相馬、ポポビッチ両監督が1年でチームを去ってしまったことは、継続性がなくなることの一番の要因になっている。

何故、両監督が1年でチームを去ってしまったのか。理由は関係者にはもちろんわかっていることなのであろうが、きちんと精査できているのだろうか?

それができていなければ、今後誰を招聘しても同じことを繰り返すのではないかと対策をとったのか?

もちろん、両監督がJ1チームからのオファーがありそれが魅力的だったというのは大きな理由になるだろうが、それでも町田というチームに(お金はないが)もう少し魅力があれば、引き留められたのではないかと?

それは、選手にも言えよう。人をつなぐのは、お金だけではない。(もちろん、泣く泣く去った選手もいるだろうが)フロントがこの激しすぎる人材流出に対して、きちんと精査し対策をとっているというのを具体的なことは別に話してもらわなくて結構なので知りたい。

→今後、就任する監督には長期にやってもらいたいです。

また、魅力的なチームというのは、選手、監督にとってやりやすい環境だということもあるだろう。

監督にチーム作りをきちんと任せていたのか。

スポンサーや経営陣からの雑音がなかったか?(選手起用や戦術についてなど口出しはなかったか?)

(強化面の一つだと思うのでここで補強についても・・・)

中断期間の補強があまりにも闇雲な感じだったが、来期はGMを置く予定はあるのか?

●サポーターH:

今シーズンも色々とお世話になりました。つたない文章ですが私の要望を送らせていただきます。長くなってしまい、申し訳ありません。

[強化方針]

・昇格は二の次。目先の結果だけを求めると大きなものを失ってしまう。まずは FC 町田ゼルビアが街の誇りになれるようなチームリビルドを期待します。

・プロとしての自由競争に甘い考えかもしれませんが、トップチームにはユース昇格枠を毎年 2,3 は空けて欲しい。町田のサッカー少年のために作られたのが、トップチームだったはず。即戦力でなくても、ユース昇格枠を育成枠として 2,3 年は保有。育成ピラミッドの頂点であるべき。ユース昇格選手がトップチームにいないと、町田の子供たちは何を指すのでしょうか。トップチームを作った意味がないとまで思えます。

[その他]

・セレッソの 8 番のように、町田を背負う番号が欲しい。それが酒井選手の 11 番だったとっていたので、今年は残念でした。町田の子供の誰もが憧れ、目指すようなものを作って欲しいです。最初は演出の匂いしかしなないと思いますが、年月をたてば象徴に変わります。背番号に適する選手が現れるまで欠番もやむをえずというクラブの意思を感じたいです。

●サポーターI:

兎に角、強くなってほしい。すべてはそれからのような気がします。

スタイルなんて関係なく、兎に角勝って、私たちが喜ばしてほしい。サッカー素人の私も含め、子供も、スタイルなんて良くわからない。パスサッカーなんて、よくわからない。遠くからでも、ゴールが見えたら、シュートの方が面白い。

喜ぶから、面白いから、またサッカーをしたくなる、見たくなる。単純なことだと思います。

負けたら、内容が良かったって、一部の玄人を除けば、喜ばないし、面白くない。

●サポーターJ:

サポカンでお聞きしたいこと。

というか、要望です。

監督をコロコロ変えないで下さい。

「攻撃的サッカー」ってだけで内容が激変して、しかも結果が出ていない現状をみると、これからの先行きが心配です。

知名度よりも、実績があつて、若手の育成ができる監督にすべき。

しかも 3 年程度の時間は与えて、本当に強いチームにしてください。

途中解任とかあり得ない。

●サポーターK:

味スタ西で少しだけ立ち聞きしましたがあんな試合を見せられたので 2~3 書きとめさせていただきます

・チーム作りにおいて松本、長崎が大成功大躍進して町田が大失敗した原因を徹底的に追求してみてください。(予算規模が...とかそういう事ではなくて)

- ・結局今季は何がやりたかったのか、どういうサッカーがやりたかったのかさっぱりわからない
 - ・今年育てるべき選手を使わなかった経験を積ませなかったしお寄せが来季に来ますがまたレンタルでお茶を濁すの？
 - ・一昨年までのようなゼルビアを返して下さい。去年今年みたいなゼルビアはいりません
- 以上宜しくお願いします

これを見つけたついでにもう一点

<http://www.kk-gion.co.jp/smile-and-run/>

フィジコを雇う予算がなかったらギオンさんに仲介してもらって臨時コーチを頼むかメニューを作ってもらってはどうか。他にも日体大(こどもの国隣の)に依頼したり

松本の反町監督は就任早々Jにほど遠いレベルを指摘してフラビオ(でしたっけ?)に毎日吐くまで走らせて90分走り倒す事から始めたり、長崎の高木監督も反町監督にアドバイスを貰って毎日ボール練習の前に“J1から移籍して来た選手が練習について行くのがやっ”と言わせる程日々走り込んで居るとか

足元へ止まってパスを受け渡すスタイルの町田はボールを取っても取られても走り出しが遅く(むしろ歩いてる)間延びの要因になっているし後半足が止まる事もしばしば。一歩目が遅いから相手に読まれる事も多々

まとまりが無い文でスイマセンが要はフィジカルについてです。宜しくお願いします

●サポーターL:

私のチームに対する意見を申し上げます。

「次の監督には町田ゼルビアとしてのしっかりした基盤を作っていただきたい。そのためにも1年ごとの就任期間ではなく、3・4年の期間で監督を就任期間をお願いすると共に任せられるしっかりした監督を選んでいただきたいと思います」

よろしく申し上げます。

●サポーターM:

いつもお世話になっております。

当日MTGに間に合いそうにないため、こちらから意見をお伝えさせていただきます。

〔希望内容〕

○同一指導者による一貫性のある指導の継続・強化～組織作り

クラブ運営サイドやサポーターなどは各々が努力して少しずつ成長した1年でしたが、残念ながらピッチ上のみが停滞してしまった1年という印象を持ちました。実際には“失われた1年”ではなく、自らが“失った1年”だったのでないでしょうか。

それは、監督によるところが大きいのではないのでしょうか。不幸なことに、毎年監督が変更されるため、チーム組織立ち上げの段階からプレイヤーの特長を把握するどころか、名前から覚えなければならないなど、毎回ゼロベースからの組織を構築しています。(これは選手の契約更新や新規採用にもリンクしていると思われます)

特に今年は「クラブの理念」や「目指すべくサッカーの方向性(町田らしさ)」について、監督採用の段階から熟慮された上での人選だったのか、また新規監督との間できちん共有されていたのか、という疑問を強く抱かざるを得ませんでした。

今年前期、(選手選考等々、ゼロベースからの構築のため、秋田氏にとっても難しさはあったかと思われませんが)ピ

ッチ上におけるパフォーマンスから「サッカーの方向性」は感じられず、「町田らしさ」も見られず...これまで構築してきたものが瓦解していくような感覚を味わい、ただ我慢してスタンドから見つめるしか術がありませんでした。

クラブが進みたい方向性や追い求めるサッカーのスタイルなどを理解・共有して導いていく監督の人選の大切さを痛感しました。

後期は、(最終目標に到達できなかったものの)「町田らしさ」を追い求めていくような目指すべく「サッカーの方向性」がある程度明確化された印象を受けましたし、実際、ピッチ上におけるパフォーマンスにも(少しずつではありますが)片鱗が見られるようになりました。

目先の結果にとらわれることなく、中長期的な視座にたつて、来年は今年後期に構築したものに上積みしていくような『継続による強化』という観点から、楠瀬氏による継続指導の有用性について真剣に議論してもよいのではないのでしょうか。

トップチームの指導経験を疑問視する意見はあるかもしれませんが、どんな監督であっても「初めての指導経験」があり、その後の成功・失敗体験等々の積み重ねがあつて今があります。個人的には、クラブ運営者やサポーター同様、これから様々な経験を通して指導者として共に成長して行って頂きたいと考えております。

時間がかかってもよいので、長野や讃岐など他クラブのように腰を据えてじっくりと強い組織を構築して行って頂きたいと切に願っています。

※著名な監督を招聘して大きい予算を使うよりも、有能な選手の給与アップや新規選手採用にこそ使って頂ければ幸いです。